E-Guardian News Release

報道関係者各位

2026 年 11 月 9 日

イー・ガーディアン株式会社

総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン

芸能事務所向け「ライブ配信 AI 監視ソリューション」を提供開始

～先着 5 社・最大 3 カ月間無料！不適切な発言や個人情報の映り込み、炎上を AI が検知し、マネージャーが張り付かなくてもタレントが安心して配信できる環境を実現～

イー・ガーディアン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高谷 康久、以下「イー・ガーディアン」）は、2026 年 11 月 9 日（月）より、芸能事務所やタレント・クリエイター事務所向けに、「ライブ配信 AI 監視ソリューション」のベータ版を提供開始いたします。先着 5 社を対象に、AI による監視機能を最大 3 カ月間（配信 100 時間まで）無料でご利用いただけます。本ソリューションは、所属タレントのライブ配信の映像・音声・コメントを AI が 24 時間 365 日監視し、不適切な発言や個人情報の映り込み、コメント欄の炎上などを検知すると、担当マネージャーへ即時に通知するものです。2026 年 9 月 18 日（金）に発表した 5 つの AI 監視ソリューション※1 のうち、芸能領域の「ライブ配信監視」にあたり、ベータ版での検証を経て、順次正式提供へ移行します。

※1　イー・ガーディアン「生成 AI 時代の誹謗中傷・なりすまし・誤情報に、AI 戦略で対応」（2026 年 9 月 18 日発表）

E-Guardian We Guard All

【サービス提供の背景と狙い】

■ライブ配信は、所属タレントとファンをつなぐ日常的な活動の場に

総務省の調査※2 によると、2025 年の YouTube の利用率は 50 代までの各世代で 8 割を超え、TikTok も 10 代・20 代で 6 割を超えています。幅広い世代が日常的に使うこれらの SNS ではライブ配信などを通じて所属タレントがファンと直接交流する場面も広がっています。一方、ライブ配信はリアルタイムで視聴者へ届くため、不適切な発言や個人情報の映り込みなどが起きればその瞬間に多くの視聴者の目に触れます。コメント欄で誹謗中傷や荒らし行為が行われることもあり、発信者情報の開示請求などの法的措置に踏み切る事務所も出てきています。

■配信のたびにマネージャーが張り付いて見守る体制には限界

多くの芸能事務所では、所属タレントが配信するたびにマネージャーがリアルタイムで視聴し、問題が起きていないかを確認しています。当社の試算では、所属タレントを多く抱える芸能事務所の場合、ライブ配信は月約 2,400 時間、1 日あたり延べ約 80 時間にのぼります※3。担当するタレントやグループが増え、配信が同じ時間帯に重なったり、深夜・休日に及んだりすれば、人の目ですべてを見続けることは困難です。見守りにかかる工数はマネージャー本来の業務を圧迫し、勤務時間の管理を難しくする要因にもなっています。

■誰も見ていない配信で起きたリスクは、把握が遅れる

見守る担当者がいない配信で問題が起きた場合、事務所がそれを知るのは、ファンからの通報や SNS での拡散を通じてというケースが少なくありません。配信中に気づければ、出演者への声かけや配信の中断など、その場で手を打てます。事後に知った場合は、すでに広まった情報への対応に追われることになります。加えて、どの配信で、いつ、何が起きたのかが記録として残らず、振り返りや再発防止の検討が難しいことも課題です。

このような背景を受け、イー・ガーディアンは、25 年以上にわたる投稿監視の知見に加え、2017 年に提供を開始したライブコマースの配信監視をはじめ、ライブ配信・動画の監視業務で培った運用ノウハウと AI 技術を活用し、「ライブ配信 AI 監視ソリューション」を開発しました。

【「ライブ配信 AI 監視ソリューション」について】

配信の映像そのもの、出演者の声を含む音声、視聴者のコメントの 3 つを監視の対象とし、AI が 24 時間 365 日、配信の開始から終了までを見守ります。24 時間体制の専門オペレーターによる判定を組み合わせれば、AI だけでは判断しづらい事務所固有の NG 事項や、事務所・グループ・タレントごとの条件や事情も加味したうえで通知することが可能です。2024 年に開発した「ライブ配信障害検知システム」が配信停止などの技術的な不具合を検知するのに対し、本ソリューションは配信の内容に潜むリスクを対象とします。配信の見守りは AI と当社が担い、芸能事務所には対応が必要な場面だけを配信中に届ける設計です。

サービスページ URL：https://www.e-guardian.co.jp/service/ai/livestream-monitoring/

■4 つの特徴

1. 出演者と配信先を登録するだけで、配信の開始を AI が自動で検出

監視する所属タレントと、そのアカウント・配信プラットフォームを登録すると、配信の開始を AI が自動で検出して監視を始めます。事前に予定されていない突発的な配信も対象です。同じ時間帯に複数の配信が重なっても、深夜・休日の配信であっても、24 時間 365 日、配信の終了まで見守り続けます。

2. 映像・音声・コメントを AI が監視し、検知した場面は即時にマネージャーへ通知

AI が監視するのは、配信の映像・音声・視聴者コメントの 3 つです。映像からは個人情報や第三者の映り込み、性的な露出、暴力・危険行為を、音声からは暴言や差別的な発言、自傷・自殺をほのめかす言動を、コメントからは誹謗中傷や荒らしによる炎上を検知。対応が必要な場面を検知すると、LINE や Slack などを通じて、即時に担当マネージャーのスマートフォンへ通知します。通知には、どの出演者の配信か、何が起きたか、該当場面の時刻、推奨する対応を記載しており、配信が続いているうちに該当場面を確かめ、出演者への声かけなどの判断につなげられます。通知の対象とする場面は、導入時に事務所ごとの方針に沿って取り決めます。

3. 事務所固有の NG 事項や個別の事情は、専門オペレーターが加味して判定

一般的なリスクの検知は AI が担う一方、何を避けるべきかは事務所によって大きく異なります。たとえば、スポンサー契約に関わる他社商品への言及や、解禁前の出演情報、タレントごとに取り決めている話題などです。有人プランでは、こうした事務所固有の NG 事項や、グループ・タレントごとの条件・事情を導入時に共有いただき、AI が検知した場面について 24 時間体制の専門オペレーターがそれらを加味して判定したうえで通知します。速さを重視する場合は、AI の判定のまま即時に通知する無人プランを選ぶこともでき、出演者や時間帯ごとに両プランを組み合わせることも可能です。対応の要否に関わる最終的な判断は、事務所が行います。



配信モニター画面と、担当マネージャーのスマートフォンへの通知のイメージ

4. 配信ごとの検知履歴を記録し、通知の基準も定期的に見直し

検知した場面の時刻、出演者、内容、判定結果、確認した担当者を配信ごとに記録し、配信終了後に一覧で確認できます。記録をもとに、通知の基準を定期的に見直します。どの配信で何が起きたかを後から確かめられるため、再発防止の検討や社内への説明の根拠としても活用いただけます。

■ベータ版提供概要

提供開始日	2026 年 11 月 9 日（月）ベータ版の提供を開始 ※ベータ版での検証を経て、順次正式提供へ移行予定
対象	ライブ配信を行う所属タレント・出演者を抱える芸能事務所、タレント・クリエイター事務所、VTuber・ライバーの運営組織など
監視対象	各種 SNS やライブ配信プラットフォーム
提供内容	・出演者単位の自動監視 ・映像、音声、コメントの AI 解析および担当者への通知 ・検知内容と発生時刻の自動記録 ※導入時の出演者・配信アカウントの登録や、事務所固有の NG 事項を含む通知基準の設計なども含む
価格	ベータ版　：無料 ※先着 5 社、AI による監視機能、配信 100 時間またはご利用開始から 3 カ月のいずれか早く達した時点まで ※専門オペレーターによる判定は無料の対象外（ご希望の場合は別途お見積もり） 正式提供後：個別見積もり（初期費用＋月額費用） ※出演者・配信アカウント数、監視時間、専門オペレーターの対応範囲などにより個別にお見積もり
申込 URL	https://www.e-guardian.co.jp/inquiry/poc/ ※先着 5 社に達し次第、受付を終了します ※無料期間終了後は、継続利用の有無を改めてご判断いただけます

※記載されている会社名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

【AI 戦略統括部 統括責任者　コメント】

イー・ガーディアン株式会社 AI 戦略統括部 統括責任者／シニアディレクター　山田 喬

ライブ配信は、所属タレントがファンとつながり、言葉を交わすうえで欠かせない場となっており、配信の数は今後も増えていくはずです。その一方で、マネージャーの方々が配信の見守りに費やす時間も膨らみ続けています。担当するタレントやグループが増えれば、すべての配信を見届けることはできません。配信が深夜や休日に及べば、マネージャーの方々の働き方そのものにも無理が生じます。

見守りが欠かせない業務であることは確かです。ただ、配信時間の大半は何事もなく過ぎていきます。何も起きていないことを確かめるために、タレントとの対話や仕事づくりといったマネージャー本来の業務の時間が大きく削られており、この見守りの部分こそ AI が引き受けられると考えました。

本ソリューションでは、配信を見続ける役割を AI と当社が担い、マネージャーの方々には判断が必要な場面だけをお知らせします。どのような場面を知らせるかの基準は事務所の皆さまと決め、運用を重ねながら見直していく方針です。見守りに充てていた時間を、タレントと向き合う時間へと振り向けていただくことが、本ソリューションの目指すところです。

※2　総務省情報通信政策研究所「令和 7 年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」（2026 年 6 月 26 日発表）

※3　当社が支援する芸能事務所の所属タレントによるライブ配信をもとにした当社推計（2026 年 10 月時点）

【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一気通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 18 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております。

■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者　　：代表取締役社長　高谷 康久
所在地　　：東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F
設立　　：1998 年 5 月
資本金　　：1,967 百万円（2026 年 3 月末日現在）
業務内容　：ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
　　オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
　　コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業
URL　　：https://www.e-guardian.co.jp/